KIBUN PACHI-PACHI委員会 Vol.26

気分がパチパチあがるような、明るく楽しい体験をもたらしてくれる――そんなパチンコ・パチスロのエンターテインメント性を広めるため、パチンコメーカーで構成される日本遊技機工業組合が発足した。

公立諏訪東京理科大学 篠原菊紀特任教授が提唱する

脳科学の観点から「スマートPLAYスタイル」のススメ

去る5月15日、遊技業関連企業による団体・一般社団法人 日本遊技関連事業協会（以下、日遊協）が主催する「ぱちんこ依存問題」勉強会が東京・京橋で開かれた。そこで講師として登壇したのが、公立諏訪東京理科大学の篠原菊紀特任教授。健康科学、脳科学の見地から約四半世紀にわたり依存問題を研究してきた専門家だ。篠原特任教授が提唱する「スマートPLAYスタイル」のススメとは。

「ギャンブル依存症」を病気として捉え強調するのは適切ではない

ギャンブル等依存症問題の関心と理解を深めるために、毎年5月14日～20日は国から「ギャンブル等依存症問題啓発週間」に定められている。

ギャンブル等依存症対策基本法が施行されたのは2018年と、意外にも歴史は浅い。それよりも20年以上前から「快感・楽しさ」をキーワードに依存問題のほか様々なアプローチを重ねる脳のエキスパート・篠原菊紀教授に、まずはギャンブル依存症という名称についてうかがった。

篠原氏（以下：篠） そうですね、ギャンブル依存症という名称は日本独特です。世界的にはgambling disorder（ギャンブリング障害）でわが国での訳語はギャンブル行動症です。「ギャンブルの問題」というより「ギャンブルの仕方」の問題というニュアンスです。まず、ここを踏まえましょう。次にWHOによれば、ギャンブリング障害と危ない遊び方（hazardous gambling or betting）を区別せよ、と言っています。混同してはならないと。前者は精神的な障害で、後者は健康問題、肥満や運動不足と同列です。日本では何でもかんでも、「ギャンブル依存症」と呼びがちですが、やたらに病気として強調するのは適切とは言えません。

公立諏訪東京理科大学　篠原菊紀特任教授

快感に関わるドーパミン分泌が認知症を抑えうる可能性がある

一部マスコミの過度な煽りによりパチンコの負の部分ばかりが強調されてきたが、脳科学の見地に立つと、パチンコ好きがパチンコを打つことは、むしろ推奨されるべき側面もあるという。

篠 趣味をはじめとする余暇活動がアルツハイマー病や認知機能低下予防に役立ちうることは、200万人を超えるデータのまとめから報告されています。依存界隈ではすべての元凶のように言われる快感に関わるドーパミン分泌が、認知症を抑えうる可能性があるのです。アルツハイマー病の原因物質であるアミロイドβやタウたんぱくが凝集する（凝集することで毒性を発揮する）のをドーパミンがやっつけてくれることが報告され始めています。遊びや楽しさがだいじなんですね。

では、ドーパミンは具体的にどのタイミングで放出されるのか。

篠 パチンコ遊技中だと、実報酬（大当たり時）だけでなく、報酬予測（高信頼度予告の発生）、報酬期待（報酬予測から実報酬までの間）の3カ所でドーパミンが出ます。お店に行こうと思い立った時も分泌されます。ここでだいじなのは、実報酬時の脳活動では、報酬予測と実報酬の差を計算して、ドーパミンが放出されることです。たとえば、確定演出が出た後のあたりは「まぁ当たるよね……」となってしまうのでドーパミンはほぼ放出されません。ドーパミン神経には飽きる、嫌になる仕組みも仕込まれているのです。だから、ドーパミン放出自体が危ないかのような依存界隈の説明は間違いです。

「ギャンブリング障害」と、「危険な遊び方」を明確に区別する

さて、ここで「スマートPLAYスタイル」について伺おう。

篠 繰り返しになりますが、「ギャンブリング障害」と、その前段階「危険な遊び方」は明確に区別してください。世にあふれるチェックリストなどで、「依存症かも？」と思った程度ではせいぜい「危ない遊び方」です。遊び方の修正が十分可能です。ですから、世界でのいわゆる依存症対策の本線は、健全に遊んでいる人を健全に止める、危ない遊び方の人を障害化させない、です。その際、役に立つのが「スマートPLAYスタイル」。アメリカで開発されたpositive play scaleをぱちんこに援用し、遊技量の制限よりもこちらの順守が相当に有効であることを研究的に確かめた指標です。くわえて、2024年に我々が日遊協と協力して454人の高齢パチンコユーザーを調査したところ、投資の上限金額を決めて遊ぶ『決めパチ』、時間に余裕がある時に遊び、人との約束を破らないようにする『よゆパチ』、勝っても負けても正直に周りの人に話す『シェアパチ』といった、スマートPLAYスタイルを励行している人ほど頭の働きがよい（認知機能が高い）ことも明らかになっています。

ユーザーが3カ条を守るのはもちろんだが、それ以上に周囲の非パチンコユーザーもただ無げにとがめるのではなく、正しい遊び方を理解し寄り添うことが、ギャンブリング障害化を防ぐうえで重要になりそうだ。最後に、読者へ向けたメッセージを頂いた。

篠 ぱちんこが好きで長く打っているプレーヤーは、おおむね健全に遊んでいます。そういう人にとって、ぱちんこを打つことはむしろ脳によろしい。実際70代ぱちんこプレーヤーの認知機能は一般より高かった。できれば、ただボーッと打つだけではなく、積極的に脳を働かせて、自己コントロールし、いっぱい当てて、最後に振り返った時に「いいパチンコライフだったな」と思えるようにしてもらえたらと思います。私もそれを目指しています。

3つのプレコミットメントで「危険な遊び方」を減らそう！

スマートPLAYスタイル3カ条

- 決めパチ！ **上限金額を決めよう！** 自分に負担のかからない範囲で、「今月はいくらまで」と決めたうえで楽しもう
- よゆパチ！ **空いた時間で遊ぼう！** 時間に余裕のある時に遊び、誰かとの約束などは破らないようにしよう！
- シェアパチ！ **周りの人に話そう！** 負けを取り戻そうとしてウソをついたりせず、勝っても負けても正直に周りの人に話そう！

篠原菊紀（しのはら　きくのり）
公立諏訪東京理科大学特任教授。人システム研究所所長。主な研究に「日常的な脳活動」「ギャンブリング・ゲーム行動症、危うい遊び方」「快感の量的推定」「脳トレ問題の作成、監修」「パワハラ、危ない遊び方など相談AI作成」など。自身もパチンコを趣味とし週1～2回遊技。最近のお気に入り機種は初打ちで連チャンしてくれた『P海物語 極JAPAN』。

注目の新機種情報

eフィーバー彼女、お借りします（SANKYO）

「週刊少年マガジン」で連載中の大人気ラブコメがついにパチンコで登場！　本作はデカヘソを搭載しており、変動効率とストレスフリーのタイパ抜群の台となっている。

©宮島礼吏／講談社　©宮島礼吏・講談社／「彼女、お借りします」製作委員会　©宮島礼吏・講談社／「彼女、お借りします」製作委員会2022

e冴えない彼女の育てかた（大都技研）

2015年にフジテレビ「ノイタミナ」枠で放送を開始し、2019年には劇場版が公開された人気アニメがついに、パチンコで登場！ スペックは大当り確率約1/179のライトミドル＋ラッキートリガーを搭載。最大出玉2400個を搭載し、最大継続率も約92％と冴えてるパチンコとなっている。

©2017 丸戸史明・深崎暮人・KADOKAWAファンタジア文庫刊／冴えないヒな製作委員会　©DAITO GIKEN,INC.

※導入日は一部地域によって、異なります。

パチンコ・パチスロホール＆イチ推し店員、情報募集中

「オレの町の話題のホール」「イチ推し店員。この店のあの娘を推したい」、また、「うちのココが他店とは違う。自慢できるセールスポイントはこれ」「ぜひウチのアイドル店員を紹介したい」など、情報を募集中です。●問い合わせ＝弊社「KIBUN PACHI−PACHI委員会」gendai@nk-gendai.co.jp（右QRコード）まで。

次回掲載は6月27日予定です

過去の掲載はこちらで読めます
https://www.nikkoso.jp